

第 10 期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に係る 高齢者実態調査の実施について

1. 計画策定の根拠、期間

	高齢者保健福祉計画	介護保険事業計画
根 拠	老人福祉法第 20 条の 8 高齢者の保健福祉の施策に係る老人居宅生活支援事業及び老人福祉施設による事業の供給体制の確保に関し定める。	介護保険法第 117 条 介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関し、供給量及び供給体制を見込み定める。
計画期間(3 年)	第 1 期：平成 12～14 年度 第 2 期：平成 15～17 年度 第 3 期：平成 18～20 年度 } 第 8 期：令和 3～5 年度 第 9 期：令和 6～8 年度 <u>第 10 期：令和 9～11 年度</u>	第 1 期：平成 12～14 年度 第 2 期：平成 15～17 年度 第 3 期：平成 18～20 年度 } 第 8 期：令和 3～5 年度 第 9 期：令和 6～8 年度 <u>第 10 期：令和 9～11 年度</u>

※なお、第 10 期計画は、認知症基本法第 13 条の規定に基づく認知症施策推進計画を包含するものとする。

2. 高齢者実態調査の概要

(1) 調査項目及び内訳

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 参考資料 1－1

「全国統一調査項目」73 項目、「八潮市独自調査項目」42 項目 合 計 115 項目

●調査内容の内訳

「全国統一調査項目」 計 73 項目

ア あなたのご家族や生活状況について：6 項目、イ からだを動かすことについて：10 項目、ウ 食べることにについて：10 項目
エ 毎日の生活について：18 項目、オ 地域での活動について：10 項目、カ 就労について：2 項目
キ たすけあいについて：8 項目、ク 健康について：7 項目、ケ 認知症にかかる相談窓口の把握について：2 項目

「八潮市独自調査項目」 計 42 項目

ア 市の高齢者施策等について：21 項目、イ 今後の意向や要望について：8 項目、ウ 医療と介護の連携について：13 項目

②在宅介護実態調査 参考資料 1－2

「全国統一調査項目（本人用、家族用）」19 項目、「八潮市独自調査項目（本人用、家族用）」7 項目 合 計 26 項目

●調査内容の内訳

「全国統一調査項目（本人用）」 計 14 項目

ア 家族等の状況、介護者からの介護等について：7 項目、イ 利用している介護保険サービス以外の支援・サービスについて：2 項目
ウ 施設への入所について：1 項目、エ 傷病・サービス等の利用について：4 項目

「全国統一調査項目（家族用）」 計 5 項目

ア 就労について：4 項目、イ 不安に感じることにについて：1 項目

「八潮市独自調査項目（本人用）」 計 4 項目

ア 市のケアマネジャーについて：1 項目、イ 市の認知症施策等について：3 項目

「八潮市独自調査項目（家族用）」 計 3 項目

ア 市の認知症施策等について：3 項目

③介護人材実態調査 参考資料 1－3

「全国統一調査項目（施設系・通所系、訪問系）」13 項目、「八潮市独自調査項目（施設系・通所系、訪問系）」3 項目 合 計 16 項目

●調査内容の内訳

「全国統一調査項目（施設系・通所系）」 計 7 項目

ア サービス種別について：1 項目、イ 事業所に所属する介護職員について：4 項目、ウ 採用や人材について：2 項目

「全国統一調査項目（訪問系）」 計 6 項目

ア サービス種別について：1 項目、イ 事業所に所属する介護職員について：3 項目、ウ 採用や人材について：2 項目

「八潮市独自調査項目（施設系・通所系、訪問系）」 計 3 項目

ア 市の介護事業者施策等について：3 項目

(2) 対象者

ア 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

・要介護認定を受けていない高齢者 3,100 人（一般高齢者 2,200 人※、要支援認定者約 700 人、事業対象者約 200 人）

イ 在宅介護実態調査

・要介護 1～5 の高齢者 1,200 人※

ウ 介護人材実態調査

・市内介護 60 事業所

※は無作為に抽出

(3) 実施予定期間

令和 8 年 2 月 27 日（金）から 令和 8 年 3 月 31 日（火）まで

なお、調査方法は郵送配布、回答は郵送又はオンライン回収

3. ご意見と市の対応

番号	委員からのご意見	市の対応
意見1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	市の高齢者施策等について（7）の問いは大切だと思いました。 「高齢者ふれあいの家」などのような場所は重要だと考えております。令和5年八潮市市民活動状況調査報告書によると、 ・60歳以上が過半数を占める団体が、回答者の87%、 ・課題として「会員の高齢化」と回答した68件のように、後継者不足、担い手の高齢化など報告されていますが、「高齢者ふれあいの家」についても、担い手が不足している実態はないのでしょうか。もし、あるようでしたら、担い手側になる意欲があるかどうか確認する質問があってもよいのではないかと思います。	高齢者ふれあいの家については、今年度中に新たに1か所開設が予定されており、設置箇所数は順調に増加しています。その一方で、場所によっては、利用者の固定化や利用者数の伸び悩みという現状が見受けられることから、「利用していない理由」に関する設問を組み込んでいます。 なお、ご意見のありました「担い手側になる意欲があるかどうか」については、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の国から示された全国統一の調査項目問5「地域での活動について」に同様の質問があることから、その項目の結果を用いて把握できるものと考えます。
意見2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	市の高齢者施策等について（10）の設問がややわかりにくいと感じました。例えば、「あなたがイメージする“長寿”の年齢（年代）は…」や「あなたは“長寿”と聞いて、どの年代をイメージしますか？」等の設問が回答しやすいように思います。	ご意見のとおり修正します。
意見3 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	医療と介護の連携についての問いについて、訪問介護・訪問入浴介護サービスの方々のMC S活用（自社では行わないという意見が多い）。	本アンケートの対象は、一般高齢者を対象としたアンケートとなるため、ご意見として承ります。
意見4 在宅介護実態調査	市のケアマネジャーについて（1）の問いについて、なり手がいない（少ない）。	本アンケートの対象は、介護認定を受けている方を対象としたアンケートとなるため、ご意見として承ります。なお、ケアマネジャー不足については、市としても課題であると認識しています。
意見5 介護予防・日常	市の高齢者施策等について（1）①について、解答3つまで○に對して、認知症の家族がいる場合、回答1～8はほとんど該当する	①については、認知症に係る計画の策定に当たり、今後の市の施策や取組に反映させるため、当事者が何に對して特に困難を感じているかを把握する

生活圏域ニーズ調査	のではないかと思いますので、この質問の意味は極めて少ないと思います。また、②について、市はどのようなことに重点を置くべきかと問うより、どのような支援を充実してほしいかと問う方が適切と思います。	ために伺うものです。 ②については、ご意見のとおり修正します。
意見6 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	市の高齢者施策等について（３）の①について、この質問の意図は。この回答からどのような対策を考えているのでしょうか。	認知症に係る計画の策定に当たり、今後の市の施策や取組に反映させるため、認知症となった場合、まずどこに相談をすることを想定しているかを把握するために伺うものです。また、この結果を踏まえ、相談先に係る周知方法等を検討していきます。
意見7 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	市の高齢者施策等について（11）及び（12）にいかにもアンケート結果から縮小、廃止に意見を誘導し別の事業に仕向けるような誘導性の強いアンケートは避けるべきです。率直に予算都合より縮小、廃止し別の事業に充てますと言った方が良いのではないのでしょうか。	今後の市の高齢者施策の在り方を検討するに当たり、長寿祝金事業に対する当時者（高齢者）の考えを伺うものです。 その結果については、今後の市の高齢者施策の検討に当たっての基礎資料とします。
意見8 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	今後の意向や要望について（４）の文言について、「住み慣れた地域で自立した在宅生活」は一般の人には分かりにくいと思います。単に、認知症や身体の不具合の表現の方が分かりやすいのでは。	ご意見として承ります。
意見9 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	今後の意向や要望について（５）の文言について、保健福祉の表現はピンときません。もっとお年寄りの頭に入るようにしてください。回答１～３は抽象的すぎるのもっと具体例を。回答９はかなり重要な設問です。市で考えている案を数例例示すべき（他市町村で行われているような巡回バスの整備、タクシーチケットの配布、ボランティアによる送迎など）。	（５）の文言について、ご意見を踏まえ、「介護予防や高齢者が健康で安心して生活できるような取り組みを」に修正します。 その他については、ご意見として承ります。
意見10 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	今後の意向や要望について（５）で「９．通院や買い物、公共機関での手続き等の移動支援」の方のみ②について、移動手段がない	今後の市の高齢者施策の検討に当たり、高齢者の移動支援に係るニーズを把握するものです。

生活圏域ニーズ調査	人はどこに行くにも困っているに決まっていると思いますが、この設問の意図は。	
意見 1 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	医療と介護の連携について（５）で「１．自宅」以外の方のみの問いの文言について、自宅での療養という表現より自宅で過ごすのが難しいが良いと思います。	ご意見のとおり修正します。
意見 1 2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	医療と介護の連携について（８）の問いについて、いない方へのフォローの設問は無いのでしょうか。	「いない」と回答した方の割合等を把握し、今後の高齢者施策等に反映していきます。
意見 1 3 在宅介護実態調査	市の認知症施策等について（１）の②について、認知症すなわち物忘れを抱えている人に対する質問としては分かりにくいのでは。	ご意見として承ります。 なお、ご家族等が回答する場合についても、同様の設問を組み込んでいます。
意見 1 4 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	市の高齢者施策等について（３）の問いについて、「ひとつに○」ですが、複数回答はいかがでしょうか。	ご意見のとおり修正します。
意見 1 5 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	市の高齢者施策等について（７）で「２．知っているけど利用していない」の方のみの回答項目にどの「ふれあいの家」も近所にないを追加してはどうか。	ご意見にあるような場合は、「２ 通う手段がない」を回答、又は「４ その他」を回答の上、記入いただくことを想定しています。
意見 1 6 在宅介護実態調査	市のケアマネジャーについて（１）の回答項目に民生委員からの紹介を追加してはどうか。	ご意見にあるような場合は、「４ その他」を回答の上、記入いただくことを想定しています。
意見 1 7	市の認知症施策等について（１）②の回答項目に認知症や要避難	認知症の方を含む要支援者の避難体制の整備については、本市の地域福祉

在宅介護実態調査	者の避難体制の整備を追加してはどうか。	<p>分野を推進するための基本計画である「八潮市地域福祉計画」に位置付けられています。いただいたご意見については、当該計画の所管課と共有させていただきます。</p> <p>なお、市では、「八潮市避難行動要支援者避難支援計画」を策定しており、当該計画に基づき、本人や家族の力だけでは避難が難しい方を対象として、避難行動要支援者情報の登録等を行っています。</p>
----------	---------------------	--